



木曾岬小学校だより



伊勢湾台風のお話：4年生

2024年10月11日



9月26日(木)5時限目、ふれあいホールにおいて、大橋光則さん(元人権擁護委員)に來校していただき、今年も「伊勢湾台風」についてのお話をさせていただきました。

この日は、伊勢湾台風による大災害の日から65年目の日でした。当時、大橋さんは4年生でした。その日の記憶を基に、地域の方々のお話や郷土誌、新聞記事などの資料をまとめてスライドにし、校長室にある写真(伊勢湾台風前と後の航空写真)を使って、伊勢湾台風という大災害を経験して学んだことを、分かりやす

く、そして、熱くお話していただきました。この9月、石川県での豪雨により犠牲となられた方々の家族の思いは、おそらく、大橋さんたちの思いと重なるのではないかなと思いました。お話の最後に、大橋さんからは、「先人達と今生きている奇跡に感謝 それぞれの夢を膨らませ 大切な命をしっかりと生かす」ということを大切にしたいと言葉を4年生に伝えられました。こうした機会は、今後も大切に継続していきたいと思います。最後に4年生の感想(一部抜粋)を紹介します。

- 伊勢湾台風は堤防を壊すほどの威力で、…生きるのもやっとなんていうことが分かりました。大橋さんが言ったとおりに、お風呂で浮かぶ練習を始めました。
- 私はスリランカなので、伊勢湾台風のことがわからないから、大橋さんの話で覚えられました。
- 大橋さんの話で、命の大切さ、そして、自分の夢をあきらめないことを学びました。これで、僕は、夢への一歩を大きく歩むことができそうです。
- 大橋さんの話を死ぬまでずっと覚えています。これから伊勢湾台風みたいな大きい台風が来たら、大橋さんに聞いたことを思い出します。
- ずっと「堤防が切れて大変だったんだな」と思っているだけだったけど、お話を聴いてそんなことがあったと知って、堤防を通るときは、伊勢湾台風のことを思い出してみようと思います。

木曾岬メガソーラーさん、ご支援をありがとうございました。



今年度も、木曾岬メガソーラーさんより、3年生の社会見学に際して、太陽光発電学習キット(モーニングメロディーセット)やバスのチャーターをしていただきました。キット製作の経験を基に、メガソーラー見学を通じて、太陽の光はエネルギーの1つとして私たちの暮らしを支えているということを学びます。当日には、さらに、ソーラーライトホイッスルもいただきましたので、大切に使用していきたいと思います。ありがとうございました。(社会見学の様子:ホームページ掲載)

PTA:しおりづくり

10月1日(火)、第1回目のPTAしおりづくりを開催。この企画は、4月、第1回学校運営協議会で委員の方からいただいたご意見を基に考えられた取組です。読書に意欲的に取り組んでいくためのきっかけとなれば…ということで、自分のしおりを持つことはどうかといったお話をしていただいたことが始まりです。

PTA本部役員会において、家庭教育部の方々を中心に具体的な取組が提案され、現在、実施中です。ご都合がよろしければ、しおりづくりにご協力ください。よろしく願いいたします。



不審者対応訓練

10月3日(木)3時限目に、不審者対応訓練を行いました。保健室に不審者が侵入という想定で実施しました。先生方が、「さすまた」の使い方を実践するとともに、教室では、侵入者との接点をできる限り防ぐための行動について学びました。訓練の様子については、校長より講話、不審者対応の合言葉「いかのおすし」について伝えました。緊張感を持った訓練となりました。まずは、こうしたことが起こらないように、日々の安全管理に努めます。ご家庭におきましても、改めて、対処法についてご確認いただければ…と思います。

